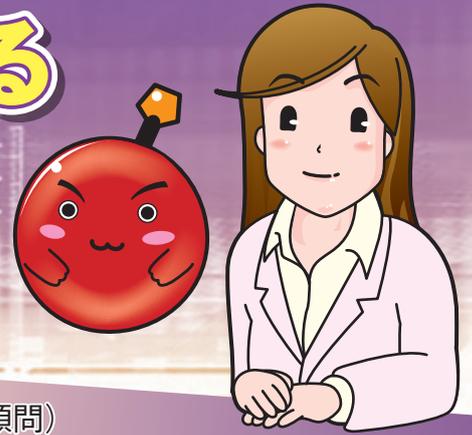


糖尿病に関連する 血液検査



— 血糖コントロール指標の特徴と使い分け —

監修: 古賀 正史 先生(市立川西病院 糖尿病・内分泌内科 特別顧問)

血糖コントロールの指標として、過去1~2ヶ月の平均血糖値を反映するHbA1cが広く用いられています。また、より短い期間を反映する指標として、GA (グリコアルブミン) が治療効果の判定に用いられています。平成20年4月の診療報酬改定で、一定の条件を満たす場合、糖尿病検査項目 (HbA1c、GA、1,5-AG) から同一月中に最大2項目の算定が行えるようになりました。血糖コントロール状態を反映した治療を行うためには、糖尿病検査項目の特徴を踏まえて適切な使い分けを行うことが重要です。

血糖コントロール指標の特徴

HbA1c (ヘモグロビンA1c)

HbA1cは、赤血球に含まれるヘモグロビンのβ鎖N末端が糖化されたものです。採血時から過去1~2ヶ月間の平均血糖値を反映して変動します。

<影響因子>

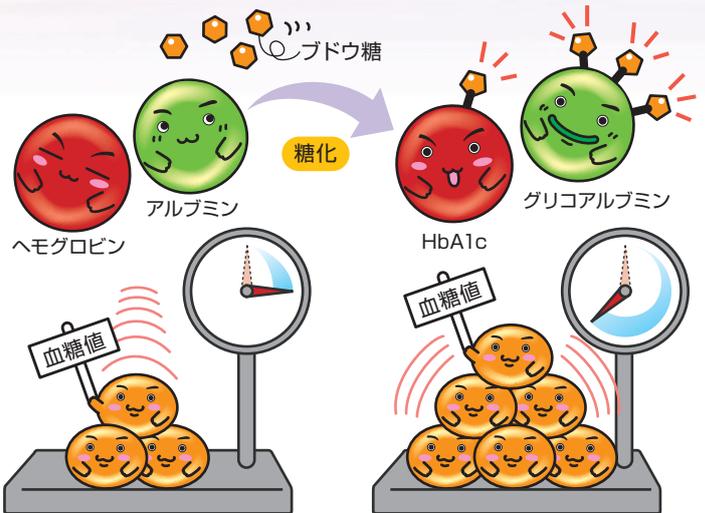
赤血球寿命の短縮する疾患 (溶血性貧血、出血、肝硬変、腎性貧血など)、異常ヘモグロビン、鉄欠乏性貧血、造血剤投与による貧血の治療

GA (グリコアルブミン)

GAは、血液に含まれるアルブミンが糖化されたものです。採血時から過去約2週間の平均血糖値を反映して変動します。早く大きく変動するため、治療時の指標、治療効果の確認に有用です。

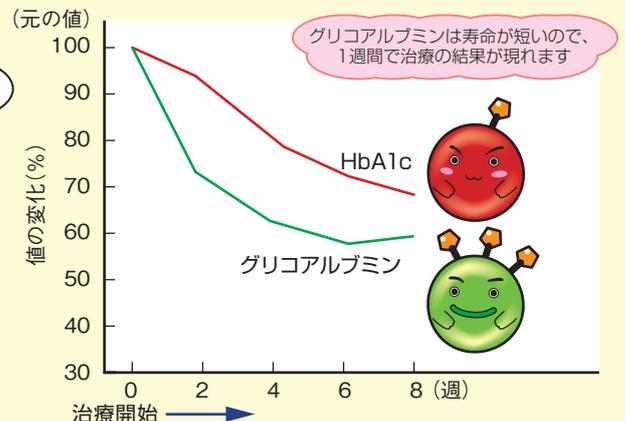
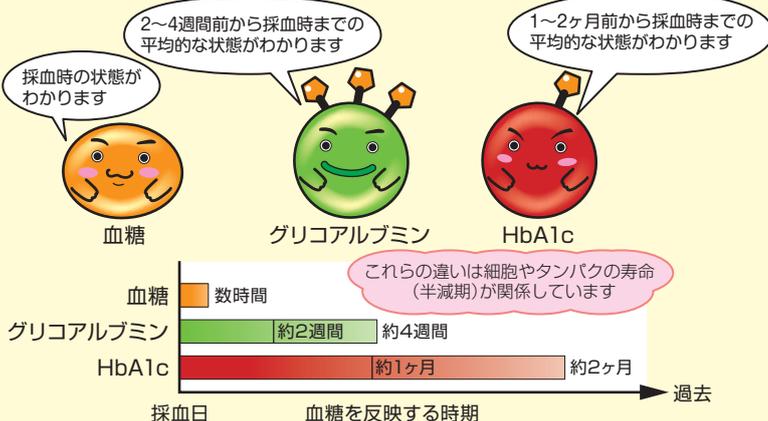
<影響因子>

ネフローゼ症候群、甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、ステロイド治療、肝硬変



HbA1c、GAの量は血糖値が低ければ減少し、高ければ増加します。

■いつの状態がわかるの?



※順天堂大学大学院 河盛 隆造先生監修
「糖尿病 最近の治療とグリコアルブミン」より抜粋・改変

1,5-AG (1,5-アンヒドログルシトール)

1,5-AGは、グルコースと類似した構造を持ち、生体内に一定量存在するポリオールです。糖代謝の急激な変化を反映して変動し、尿糖の排泄量が増えると、1,5-AGの腎臓での再吸収が阻害され尿中に流出します。このため他の指標とは逆に動き、1,5-AGは糖代謝状態が悪化すると低下します。

<影響因子>

腎性糖尿、慢性腎不全、妊娠（30週以降）など

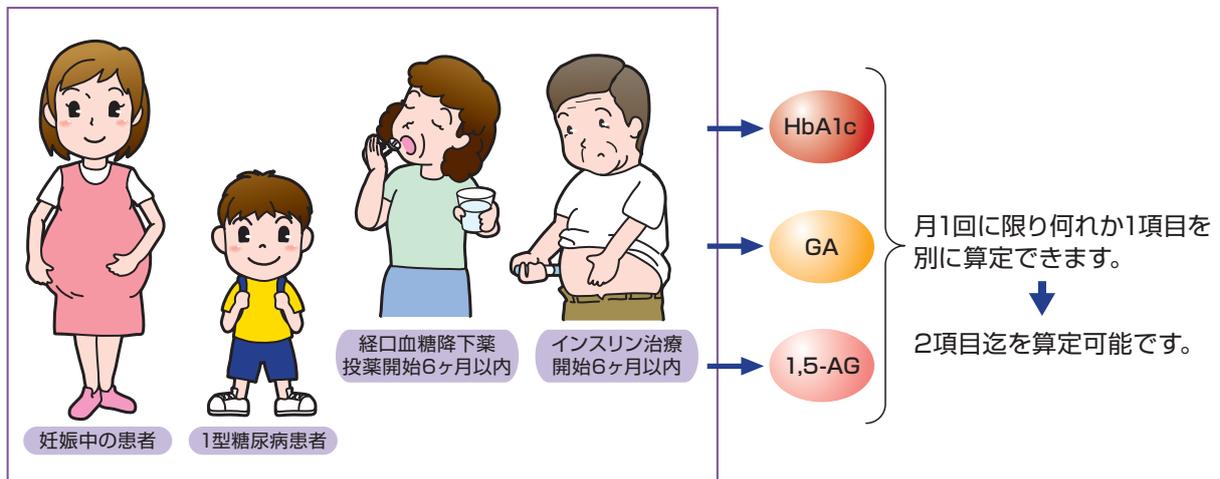
ご存知ですか？ 糖尿病検査項目の算定方法

従来はHbA1c、グリコアルブミンまたは1,5-AGのうち、何れか1項目を月に1回限りしか算定できませんでした。

平成20年の診療報酬改定以降、**下記条件を満たす場合に月1回に限り、何れか1項目を別に算定することができます。**

例 ● 同一月中にHbA1cとGAを測定した場合 → 2項目の算定が可能です。

● 同一月中にHbA1cと1,5-AGを測定した場合 → 2項目の算定が可能です。



ヘモグロビンA1c (HbA1c)、グリコアルブミン又は1,5-アンヒドロ-D-グルシトール (1,5-AG) の併施いずれかを同一月中に合わせて2回以上実施した場合は、月1回に限り主たるもののみ算定する。ただし、妊娠中の患者、1型糖尿病患者、経口血糖降下薬の投与を開始して6月以内の患者、インスリン治療を開始して6月以内の患者等については、いずれか1項目を月1回に限り別に算定できる。

(平26保医発0305・3)

参考文献

総合臨床 vol.57, p1922 - 1926, 2008 「グリコアルブミン, フルクトサミン」 古賀 正史

検査要項

| 検査コード | 検査項目 | 材料 | 検体量 | 容器 | 保存条件 | 所要日数 | 検査方法 | 基準値 | 診療報酬区分番号 | 保険点数 | 保険収載名称 |
|-------|--------------|----|-------|----|------|------|---------------------|----------|----------|------|-------------------|
| 7731 | HbA1c (NGSP) | 全血 | 2.0mL | F | 冷蔵 | 1~2日 | 酵素法 (沖縄圏はラテックス法) | 4.6~6.2% | D005-09 | 49 | ヘモグロビンA1c (HbA1c) |

販売元

協和メデックス株式会社

〒104-6004 東京都中央区晴海1-8-10

TEL 03-6219-7606 FAX 03-6219-7614

<http://www.kyowamx.co.jp>

FALCO biosystems